

第4期下野市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に係る 市民アンケート調査における設問の変更点一覧

【 アンケートの回答方法について 】

- 第3期計画 : 調査票(紙)での回答
- 第4期計画 : 調査票(紙)またはWEB(インターネット)による回答

【 調査票(紙)での回答方法について 】

- 第3期計画 : 選択肢の番号に○を付ける方式
 - 第4期計画 : 選択肢の口に✓(チェック)を付ける方式 (回答を機械で読み取り、集計を行うため)
- ※ 変更に伴い、設問文は、「あてはまるものすべてに○」や「ひとつだけ○」から、「いくつでも」や「ひとつだけ」等の表記へ変更しています。

調査項目 1 あなたご自身について

【今回】第4期計画	【前回】第3期計画
新設 問1 あなたの性別はどれですか。 ※あなたが思うものをお答えください。(1つのみ) ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他 一部変更 問3 あなたが住んでいる学校区は次のどれですか。(1つのみ) ☐ 南河内山中学校区 ☐ 南河内第二中学校区 ☐ 石橋中学校区 ☐ 国分寺中学校区 ➤ 南河内小中学校が開設したため、設問文と選択肢の文言を変更。 一部変更 問4 あなたは現在の地区(問3で回答された学校区)に何年住んでいますか。(1つのみ) ☐ 50年以上住んでいる ☐ 5～9年住んでいる ☐ 20～49年住んでいる ☐ 住みはじめて5年に満たない ☐ 10～19年住んでいる ➤ 問3に同じ。	性別によるクロス集計や傾向の分析を行うため、新たに設問を追加。 問29 あなたが住んでいる中学校区は次のどれですか。(ひとつだけ○) 1. 南河内中学校区 2. 南河内第二中学校区 3. 石橋中学校区 4. 国分寺中学校区 問30 あなたは現在の地区(問29で回答された中学校区)に何年住んでいますか。(ひとつだけ○) 1. 50年以上住んでいる 2. 20～49年住んでいる 3. 10～19年住んでいる 4. 5～9年住んでいる 5. 住みはじめて5年に満たない

【今回】第4期計画	【前回】第3期計画
一部変更 問5 あなたの普段の1日あたりの就労時間(休憩時間を含む)はどのくらいですか。一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。(1つのみ) ☐ 就労していない ☐ 4時間未満 ☐ 4～8時間未満 ☐ 8～12時間未満 ☐ 12時間以上 ➤ 就労していない理由として、新型コロナウイルス感染症の影響の有無を聞いていたが、5 類感染症に移行したことから、新型コロナウイルス感染症に関する記述を削除し、選択肢を変更。 一部変更 問6 あなたが現在同居しているご家族の構成をお答えください。(1つのみ) ☐ ひとり暮らし世帯 ☐ 親と子と孫の3世代世帯 ☐ 夫婦のみの世帯 ☐ その他 () ☐ 親と子の2世代世帯 ➤ 「あなたの家族構成」という表現では、別居している家族も含めた家族構成か否かが不明確なため、同居している家族に限定する表現に変更。	問 31 普段の1日あたりの就労時間(休憩時間を含む)はどのくらいですか。一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。(ひとつだけ○) 1. 就労していない(新型コロナウイルスの影響は<u>ない</u>) 2. 就労していない(新型コロナウイルスの影響が<u>ある</u>) 3. 4時間未満 4. 4～8時間未満 5. 8～12時間未満 6. 12時間以上 問 32 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(ひとつだけ○) 1. ひとり暮らし世帯 2. 夫婦のみの世帯 3. 親と子の2世代世帯 4. 親と子と孫の3世代世帯 5. その他 ()

【今回】第4期計画	【前回】第3期計画												
新設 問7 あなた自身、もしくはあなたが同居しているご家族の中に、次のような方はいますか。 (いくつでも) <table border="0"> <tr> <td>☐ 就学前の子ども</td><td>☐ 障がい者手帳所持者（身体・療育・精神）</td></tr> <tr> <td>☐ 小学生の子ども</td><td>☐ 介護保険の要支援・要介護認定者</td></tr> <tr> <td>☐ 中学生・高校生の子ども</td><td>☐ 認知症の診断を受けている方</td></tr> <tr> <td>☐ 学校に通えていない、または不登校状態にある子ども</td><td>☐ ひとり親家庭の方</td></tr> <tr> <td>☐ ひきこもり状態の方</td><td>☐ 経済的に困窮している方</td></tr> <tr> <td>☐ 75歳以上の方</td><td>☐ 該当する者はいない</td></tr> </table>	☐ 就学前の子ども	☐ 障がい者手帳所持者（身体・療育・精神）	☐ 小学生の子ども	☐ 介護保険の要支援・要介護認定者	☐ 中学生・高校生の子ども	☐ 認知症の診断を受けている方	☐ 学校に通えていない、または不登校状態にある子ども	☐ ひとり親家庭の方	☐ ひきこもり状態の方	☐ 経済的に困窮している方	☐ 75歳以上の方	☐ 該当する者はいない	支援や配慮(援護)を要する同居家族の有無と、以降の各設問における回答との関係性を分析するため、新たに設問を追加。
☐ 就学前の子ども	☐ 障がい者手帳所持者（身体・療育・精神）												
☐ 小学生の子ども	☐ 介護保険の要支援・要介護認定者												
☐ 中学生・高校生の子ども	☐ 認知症の診断を受けている方												
☐ 学校に通えていない、または不登校状態にある子ども	☐ ひとり親家庭の方												
☐ ひきこもり状態の方	☐ 経済的に困窮している方												
☐ 75歳以上の方	☐ 該当する者はいない												

調査項目 2 地域との関わりについて

【今回】第 4 期計画	【前回】第 3 期計画
一部変更 問 13 あなたの住んでいる地域の中に、以下のように見受けられる世帯はありますか。 (いくつでも) ☐ 10代から40代前後で、就学や就労していない人がある (ひきこもり状態) ☐ 80歳以上の親と、50歳以上の無職未婚の子が同居している (8050問題) ☐ 親の介護と子育てを同時にしている (ダブルケア) ☐ 18歳未満の子どもが家族の世話や介護をしている (ヤングケアラー) ☐ 建物や敷地内にゴミなどを積み上げた状態 (いわゆる「ごみ屋敷」) で生活している ☐ 働いているが、生活に支障があるほど経済的に困っている ☐ 経済的な理由で、衣食住の確保や病院の受診などができていない人がある ☐ 子どもや高齢者、障がいなどの各福祉分野に該当するサービスなどがないため、必要な支援を受けることができていない人がある ☐ 犯罪や非行を繰り返している人がある ☐ その他お困りの人がある (具体的に) ☐ いない ☐ わからない ➤ 厚生労働省の「ひきこもり支援ハンドブック(2025)」において、ひきこもり支援の対象者について、その状態にある期間を問わないこととしているため、選択肢の文言を見直す。「10代から40代前後で、就学や就労していない人がある」・「80歳以上の親と、50歳以上の無職未婚の子が同居している」により、中高年までのひきこもり状態に近い人をカバーする。 ➤ より分かりやすくするため、(8050問題)、(ダブルケア)、(ヤングケアラー)という文言を追加。	問 6 あなたの住んでいる地域の中に、以下のように見受けられる世帯はありますか。 (あてはまるものすべてに○) 1. 仕事や学校に行かず、概ね6か月以上続けて自宅にひきこもっている人がある 2. 10代から30代前後で、就学や就労していない人がある 3. 80歳前後の親と、50歳前後の無職未婚の子が同居している 4. 親の介護と子育てを同時にしている 5. 18歳未満の子どもが家族の世話や介護をしている 6. 建物や敷地内にゴミなどを積み上げた状態 (いわゆる「ごみ屋敷」) で生活している 7. 働いているが、生活に支障があるほど経済的に困っている 8. 経済的な理由で、衣食住の確保や病院の受診などができていない人がある 9. 子どもや高齢者、障がいなどの各福祉分野に該当するサービスなどがないため、必要な支援を受けることができていない人がある 10. 犯罪や非行を繰り返している人がある 11. その他お困りの人がある () 12. いない 13. わからない

【今回】第4期計画	【前回】第3期計画																										
一部変更 問14 隣近所に、日常生活で困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができますと思いますか。(いくつでも) <table> <tr> <td>☐ 安否確認の声かけ</td><td>☐ 子どもの通学路の見守り</td></tr> <tr> <td>☐ 話し相手になること</td><td>☐ 短時間の子どもの預かりや送り迎え</td></tr> <tr> <td>☐ 買い物の手伝い</td><td>☐ 災害時の手助け</td></tr> <tr> <td>☐ ごみ出し</td><td>☐ 災害以外の緊急時の手助け</td></tr> <tr> <td>☐ 外出の手助け</td><td>☐ 特にない</td></tr> <tr> <td>☐ 家の前などの掃除</td><td>☐ その他 ()</td></tr> </table> ➤ 困りごとは多様化しており、「高齢者や障がいのある人の介助・介護や子育て」と限定せずに問うため、設問文を変更。 ➤ 「趣味などの話し相手」と、趣味という文言を入れることで、限定的に捉えられる可能性があることから、趣味に限らず世間話など、広く会話を捉えてもらうため、選択肢の文言を変更。 ➤ 「短時間の子どもの預かり」と「子どもの送り迎え」を一つの選択肢にまとめる。 ➤ 隣近所に高齢者や障がいのある方の介護の手助けをお願いすることはハードルが高く、現実と乖離していると思われるため、「高齢者等の介護」の選択肢を削除。	☐ 安否確認の声かけ	☐ 子どもの通学路の見守り	☐ 話し相手になること	☐ 短時間の子どもの預かりや送り迎え	☐ 買い物の手伝い	☐ 災害時の手助け	☐ ごみ出し	☐ 災害以外の緊急時の手助け	☐ 外出の手助け	☐ 特にない	☐ 家の前などの掃除	☐ その他 ()	問7 隣近所で、高齢者や障がいのある人の介助・介護や子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができますと思いますか。(あてはまるものすべてに○) <table> <tr> <td>1. 安否確認の声かけ</td><td>8. 子どもの送り迎え</td></tr> <tr> <td>2. 趣味などの話し相手</td><td>9. 子どもの通学路の見守り</td></tr> <tr> <td>3. 買い物の手伝い</td><td>10. 高齢者等の介護</td></tr> <tr> <td>4. ごみ出し</td><td>11. 災害時の手助け</td></tr> <tr> <td>5. 外出の手助け</td><td>12. 災害以外の緊急時の手助け</td></tr> <tr> <td>6. 家の前などの掃除</td><td>13. 特にない</td></tr> <tr> <td>7. 短時間の子どもの預かり</td><td>14. その他 ()</td></tr> </table>	1. 安否確認の声かけ	8. 子どもの送り迎え	2. 趣味などの話し相手	9. 子どもの通学路の見守り	3. 買い物の手伝い	10. 高齢者等の介護	4. ごみ出し	11. 災害時の手助け	5. 外出の手助け	12. 災害以外の緊急時の手助け	6. 家の前などの掃除	13. 特にない	7. 短時間の子どもの預かり	14. その他 ()
☐ 安否確認の声かけ	☐ 子どもの通学路の見守り																										
☐ 話し相手になること	☐ 短時間の子どもの預かりや送り迎え																										
☐ 買い物の手伝い	☐ 災害時の手助け																										
☐ ごみ出し	☐ 災害以外の緊急時の手助け																										
☐ 外出の手助け	☐ 特にない																										
☐ 家の前などの掃除	☐ その他 ()																										
1. 安否確認の声かけ	8. 子どもの送り迎え																										
2. 趣味などの話し相手	9. 子どもの通学路の見守り																										
3. 買い物の手伝い	10. 高齢者等の介護																										
4. ごみ出し	11. 災害時の手助け																										
5. 外出の手助け	12. 災害以外の緊急時の手助け																										
6. 家の前などの掃除	13. 特にない																										
7. 短時間の子どもの預かり	14. その他 ()																										

【今回】第4期計画	【前回】第3期計画
一部変更 問 15 あなたが日常生活で困ることがあった場合、隣近所の人にどのような手助けをしてもらいたいと思いますか。(いくつでも) ☐ 安否確認の声かけ ☐ 子どもの通学路の見守り ☐ 話し相手になること ☐ 短時間の子どもの預かりや送り迎え ☐ 買い物の手伝い ☐ 災害時の手助け ☐ ごみ出し ☐ 災害以外の緊急時の手助け ☐ 外出の手助け ☐ 特にない ☐ 家の前などの掃除 ☐ その他 () ➤ 将来に限らず、現在困っている場合もあることから、設問文を変更。 ➤ 選択肢の変更については、問 14 に同じ。 削除 誰に“頼むか”ではなく、誰に“相談するか”という内容に変更するため、設問文及び選択肢を変更したうえで、「調査項目2 地域との関わりについて」から「調査項目4 福祉サービス・相談について」へ移行するため、設問を削除。⇒問 26 へ 削除 全体の設問数の調整のため、優先度から設問を削除。	問8 あなたが将来日常生活で困ることがあった場合、隣近所の人にどのような手助けをしてもらいたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○) 1. 安否確認の声かけ 2. 趣味などの話し相手 3. 買い物の手伝い 4. ごみ出し 5. 外出の手助け 6. 家の前などの掃除 7. 短時間の子どもの預かり 8. 子どもの送り迎え 9. 子どもの通学路の見守り 10. 高齢者等の介護 11. 災害時の手助け 12. 災害以外の緊急時の手助け 13. 特にない 14. その他 () 問9 あなたは、暮らしの中で相談や手助けが必要とき誰に頼みたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○) 1. 家族・親戚 2. 隣近所の人 3. 知人・友人 4. 職場の人 5. 医療機関の医師 6. 自治会長 7. 民生委員児童委員 8. 社会福祉協議会 9. 地域子育て支援センター 10. 地域包括支援センター 11. 障がい児者相談支援センター 12. 市役所の窓口や職員（保健師等） 13. 頼める人がいない 14. 頼むつもりはない 15. その他 () 問 10 日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(ひとつだけ○) 1. 自分たちの生活に関わることから、できるだけ住民同士で協力して解決したい 2. 地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい 3. 行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい 4. その他 ()

【今回】第4期計画

【前回】第3期計画

新設

問 16 あなたにとって居場所(ほっとできる場所、居心地の良い場所など)と思うところはどこですか。(3つまで)

- ☐ 自分の部屋
- ☐ 家庭(実家や親族の家を含む)
- ☐ 学校
- ☐ 職場
- ☐ 地域(サロンや行きつけの店、公民館、公園など、現在住んでいる場所にある通いの場やコミュニティ)
→具体的に()
- ☐ インターネット空間(SNS、YouTube やオンラインゲームなど)
- ☐ その他()
- ☐ そのような場所はない

問 16-2 へ

問 17 へ

問 16 で「そのような場所はない」を選んだ人におたずねします。

問 16-2 あなたの居場所となるような場所として、どのような場所が欲しいですか。(いくつでも)

- ☐ 気軽に立ち寄れる場所
- ☐ 一人で静かに過ごせる場所
- ☐ 誰かと話したり交流したりできる場所
- ☐ 同じ悩みや関心を持つ人とつながれる場所
- ☐ 相談できる人がいる場所
- ☐ 趣味や活動に参加できる場所
- ☐ オンラインでつながれる場所
- ☐ その他()
- ☐ 特にない・わからない

どのような場所が居場所となっているのか、現状を調査し、重層的支援体制整備事業の「地域づくり事業」における居場所づくりの施策の参考とするため、新たに設問を追加。

現在、居場所がない人にとって、どのような場所を居場所として望んでいるのかを調査するため、新たに設問を追加。

【今回】第4期計画	【前回】第3期計画
新設 問17 あなたは孤立や孤独を感じることがありますか。(1つのみ) ☐ いつも感じる ☐ 全く感じない ☐ 時々感じる ☐ わからない ☐ ほとんど感じない 新設 問18 あなたは1週間に1回以上、誰かと会話をしていますか。(1つのみ) ☐ 会話をしている ☐ 会話をしていない	「孤独・孤立対策推進法」に基づき、孤独・孤立の状態が人生のあらゆる段階で誰にでも生じ得ることを踏まえ、孤立・孤独の状況を調査するため、新たに設問を追加。 孤立の中でも、とりわけ家族やコミュニティとほとんど接触がない状態である「社会的孤立」の状況を調査するため、「接触がない」＝「会話がなない」という位置づけのもと、新たに設問を追加。 問17が孤独感という主観を問う一方で、こちらは客観的事実を問うもの。

調査項目 3 地域活動やボランティア活動などについて

【今回】第 4 期計画	【前回】第 3 期計画
一部変更 問 19 あなたは、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等について取り組んでいますか。(1つのみ) ☐ 現在、継続的に取り組んでいる ☐ たまに、取り組むことがある ☐ 取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない ☐ 取り組んだことはない ☐ 取り組むことができない ↓ 問 19-2へ ↓ 問 19-3へ 問 19 で「現在、継続的に取り組んでいる」「たまに、取り組むことがある」「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」を選んだ人におたずねします。 問 19-2 どのような活動をしていますか。(いくつでも) ☐ 自治会の活動 ☐ 婦人会・女性会の活動 ☐ 子ども会育成会の活動 ☐ 老人クラブの活動 ☐ PTAの活動 ☐ 子育てサークルの活動 ☐ スポーツ団体の活動 ☐ 趣味等のサークル活動 ☐ ボランティア活動 ☐ NPO活動 ☐ 地域ふれあいサロン（高齢者サロン）活動 ☐ その他（ ） ➤ 市内での呼称にあわせて、選択肢の文言を変更。	問 11 あなたは、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等について取り組んでいますか。(ひとつだけ○) 1. 現在、継続的に取り組んでいる 2. たまに、取り組むことがある 3. 取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない 4. 取り組んだことはない 5. 取り組むことができない ↓ 問 11-3へ 問 11 で「1」「2」「3」を選んだ人におたずねします。 問 11-2 どのような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○) 1. 自治会の活動 2. 婦人会・女性会の活動 3. 子ども会の活動 4. 老人クラブの活動 5. PTAの活動 6. 子育てサークルの活動 7. スポーツ団体の活動 8. 趣味等のサークル活動 9. ボランティア活動 10. NPO活動 11. 地域サロン活動 12. その他（ ）

【今回】第4期計画	【前回】第3期計画
一部変更 問 19 で「取り組んだことはない」「取り組むことができない」を選んだ人におたずねします。 問 19-3 現在活動していない理由は何ですか。(いくつでも) ☐ 自治会等の組織に入っていない ☐ 家族の理解が得られない ☐ 仕事などの都合で機会がない ☐ 体調がすぐれない ☐ 参加方法がわからない ☐ 一緒に活動する仲間がいない ☐ 時間がない ☐ わずらわしい ☐ 興味がない ☐ その他 () ☐ 経済的な負担が大きい ➤ 活動していない理由として、新型コロナウイルス感染症の影響を選択肢の一つとしていたが、5 類感染症に移行したことから、削除。 新設 問 21 あなたは、地域における助け合い、支え合いを活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで) ☐ 地域でボランティアなどの活動の拠点となる場所を整備する ☐ 地域における活動に対する運営費を補助する制度を作る ☐ ボランティアのリーダーや、福祉活動の指導者を育成する ☐ 福祉活動の相談を担当する専門職員の充実を図る ☐ 困っている人と支援できる人との調整を図る窓口を配置する ☐ 助け合いの場、組織についての情報を得やすくする ☐ 介護やボランティア活動などに関する研修を行う ☐ 学校教育や社会教育の中で、福祉教育を充実する ☐ その他 () ☐ 特にない・わからない	問 11 で「4」「5」を選んだ人におたずねします。 問 11-3 現在活動していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○) 1. 自治会等の組織に入っていない 7. 家族の理解が得られない 2. 仕事などの都合で機会がない 8. 体調がすぐれない 3. 参加方法がわからない 9. 一緒に活動する仲間がいない 4. 時間がない 10. わずらわしい 5. 興味がない 11. 新型コロナウイルスの影響でできない 6. 経済的な負担が大きい 12. その他 () 地域福祉に欠くことのできない、地域での“つながり”作りの素地として、どんな施策が求められているかを調査するため、新たに設問を追加。

調査項目 4 福祉サービス・相談について

【今回】第4期計画	【前回】第3期計画
削除 全体の設問数の調整のため、優先度から設問を削除。 過去のアンケート調査に入っているが、分析や計画の中身に活かされていない。 一部変更 問 23 下野市は様々な悩みや困難を抱える方にとって、相談がしやすいなど、暮らしやすいまちだと思いますか。（1つのみ） ☐ 暮らしやすいと思う ☐ まあまあ暮らしやすいと思う ☐ あまり暮らしやすいとは思わない ☐ 暮らしやすいとは思わない ☐ わからない ➤ 一つ前の設問(問22、第3期では問14)において、「子どもや高齢者、障がいのある人などにとって」暮らしやすいまちかを聞き、続く設問で、「子どもや高齢者、障がいのある人に限らず、様々な悩みや困難を抱える方にとって」暮らしやすいまちかを聞いており、紛らわしいため、「子どもや高齢者、障がいのある人に限らず」を設問文から削除。	問13 あなたは「福祉」に関心がありますか。（ひとつだけ○） 1. とても関心がある 2. ある程度関心がある 3. あまり関心がない 4. 全く関心がない 問15 下野市は子どもや高齢者、障がいのある人などに限らず、様々な悩みや困難を抱える方にとって、相談がしやすいなど、暮らしやすいまちだと思いますか。（ひとつだけ○） 1. 暮らしやすいと思う 2. まあまあ暮らしやすいと思う 3. あまり暮らしやすいとは思わない 4. 暮らしやすいとは思わない 5. わからない 【参考】 問14 下野市は子どもや高齢者、障がいのある人などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。（ひとつだけ○） 1. 暮らしやすいと思う 2. まあまあ暮らしやすいと思う 3. あまり暮らしやすいとは思わない 4. 暮らしやすいとは思わない 5. わからない

【今回】第4期計画

一部変更

問24 あなたは、自分に必要な福祉に関する情報をどの程度入手できているとお考えですか。
(1つのみ)

- ☐ 十分入手できている
☐ 十分ではないが、入手できている

- ☐ 入手できていない
☐ 今のところ情報を得る必要がない

問24-2へ

問25へ

- 第3期計画では、「市からの情報について」という調査項目を設けていたが、第4期計画では、全体の設問数の調整のため、調査項目自体を削除したことから、情報の取得についてあわせて聞くこととし、『福祉サービス』の情報から、「福祉に関する情報」へ、設問文の文言を変更。

一部変更

問24で「十分入手できている」「十分ではないが、入手できている」を選んだ人におたずねします。

問24-2 あなたは、福祉に関する情報を主にどこから入手していますか。
(いくつでも)

- | | |
|---|--|
| ☐ 市役所の窓口や広報紙 | ☐ 近所の人・知人・友人 |
| ☐ 民生委員・児童委員 | ☐ 家族・親族 |
| ☐ 社会福祉協議会の窓口や広報紙 | ☐ 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ |
| ☐ 地域子育て支援センター | ☐ 市ホームページ |
| ☐ 地域包括支援センター | ☐ SNS (LINE、Instagram、X、Facebookなど) |
| ☐ 居宅介護支援事業者(ケアマネジャー) | ☐ インターネット検索サイト (Googleなど) |
| ☐ 障がい児者相談支援専門員 | ☐ 動画サイト (YouTubeなど) |
| ☐ 障がい児者相談支援センター | ☐ その他 () |

【前回】第3期計画

問16 あなたは、自分に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できているとお考えですか
(ひとつだけ○)

1. 十分入手できている
2. 十分ではないが、入手できている

3. 入手できていない
4. 今のところ情報を得る必要がない

問17へ

問16で「1」「2」を選んだ人におたずねします。

問16-2 あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|-------------------------------|
| 1. 市役所の窓口や広報紙 | 6. 居宅介護支援事業者(ケアマネジャー)やホームヘルパー |
| 2. 民生委員児童委員 | 7. 近所の人・知人・友人 |
| 3. 社会福祉協議会 | 8. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ |
| 4. 地域子育て支援センター | 9. インターネット |
| 5. 地域包括支援センター | 10. その他 () |

【今回】第4期計画	【前回】第3期計画																								
➤ 情報入手先として、「家族・親族」を選択肢として追加。 ➤ 第3期計画では、社会福祉協議会の広報紙「社協だより」の認知に関する設問があったが、全体の設問数の調整により削除したため、「社会福祉協議会の窓口や広報紙」と選択肢の文言を変更。 ➤ 「居宅介護支援事業者(ケアマネジャー)」や「地域包括支援センター」が選択肢にあるため、「障がい児者相談支援専門員」「障がい児者相談支援センター」を選択肢として追加。 ➤ 「インターネット」と広く聞いていたため、時代に即して媒体ごとに細分化し、選択肢を追加。 一部変更 問 25 あなたは、次の団体や機関・制度等を知っていますか。(いくつでも) <table border="0"> <tr> <td>☐ 民生委員・児童委員</td> <td>☐ 子育て世代包括支援センター</td> </tr> <tr> <td>☐ 家庭相談員・婦人相談員</td> <td>☐ (こども家庭センター「ふわり」)</td> </tr> <tr> <td>☐ 生活支援コーディネーター</td> <td>☐ 障がい児者相談支援センター</td> </tr> <tr> <td>☐ 地域包括支援センター</td> <td>☐ 生活困窮者自立支援制度(ささえーる)</td> </tr> <tr> <td>☐ 社会福祉協議会</td> <td>☒ 福祉まるごと相談窓口</td> </tr> <tr> <td>☐ 地域子育て支援センター</td> <td>☐ いずれも知らない</td> </tr> </table> (「つくし」、「みるく」、「ゆりかご」) ➤ 選択肢の「地域子育て支援センター」及び「子育て世代包括支援センター」について、回答しやすいよう、市内の施設名、機関名を追記。 ➤ 「社会を明るくする運動」については、新設した「調査項目8 再犯防止の取組について」内にて認知度を聞くため、選択肢を削除。⇒問 36 へ ➤ 「地域共生社会」を選択肢から削除し、代わりに「福祉まるごと相談窓口」を追記。	☐ 民生委員・児童委員	☐ 子育て世代包括支援センター	☐ 家庭相談員・婦人相談員	☐ (こども家庭センター「ふわり」)	☐ 生活支援コーディネーター	☐ 障がい児者相談支援センター	☐ 地域包括支援センター	☐ 生活困窮者自立支援制度(ささえーる)	☐ 社会福祉協議会	☒ 福祉まるごと相談窓口	☐ 地域子育て支援センター	☐ いずれも知らない	問 17 あなたは、次の団体や機関・制度等を知っていますか。(あてはまるものすべてに○) <table border="0"> <tr> <td>1. 民生委員児童委員</td> <td>7. 子育て世代包括支援センター</td> </tr> <tr> <td>2. 家庭相談員・婦人相談員</td> <td>8. 障がい児者相談支援センター</td> </tr> <tr> <td>3. 生活支援コーディネーター</td> <td>9. 生活困窮者自立支援制度(ささえーる)</td> </tr> <tr> <td>4. 地域包括支援センター</td> <td>10. 社会を明るくする運動</td> </tr> <tr> <td>5. 社会福祉協議会</td> <td>11. 地域共生社会</td> </tr> <tr> <td>6. 地域子育て支援センター</td> <td>12. いずれも知らない</td> </tr> </table>	1. 民生委員児童委員	7. 子育て世代包括支援センター	2. 家庭相談員・婦人相談員	8. 障がい児者相談支援センター	3. 生活支援コーディネーター	9. 生活困窮者自立支援制度(ささえーる)	4. 地域包括支援センター	10. 社会を明るくする運動	5. 社会福祉協議会	11. 地域共生社会	6. 地域子育て支援センター	12. いずれも知らない
☐ 民生委員・児童委員	☐ 子育て世代包括支援センター																								
☐ 家庭相談員・婦人相談員	☐ (こども家庭センター「ふわり」)																								
☐ 生活支援コーディネーター	☐ 障がい児者相談支援センター																								
☐ 地域包括支援センター	☐ 生活困窮者自立支援制度(ささえーる)																								
☐ 社会福祉協議会	☒ 福祉まるごと相談窓口																								
☐ 地域子育て支援センター	☐ いずれも知らない																								
1. 民生委員児童委員	7. 子育て世代包括支援センター																								
2. 家庭相談員・婦人相談員	8. 障がい児者相談支援センター																								
3. 生活支援コーディネーター	9. 生活困窮者自立支援制度(ささえーる)																								
4. 地域包括支援センター	10. 社会を明るくする運動																								
5. 社会福祉協議会	11. 地域共生社会																								
6. 地域子育て支援センター	12. いずれも知らない																								

【今回】第4期計画	【前回】第3期計画
削除 内容を変更のうえ、新設した「調査項目8 再犯防止の取組について」へ設問を移すため、「調査項目4 福祉サービス・相談について」の設問としては削除。⇒設問36へ 新設した「調査項目8 再犯防止の取組について」へ設問を移すため、「調査項目4 福祉サービス・相談について」の設問としては削除。⇒設問38へ 削除 全体の設問数の調整のため、優先度から設問を削除。削除に併せて、問24-2の選択肢を「社会福祉協議会の窓口や広報紙」に変更。	問18 あなたは、再犯防止に協力する民間協力者として、次の方々がいることを知っていますか。 (あてはまるものすべてに○) 1. 保護司 2. 更生保護女性会 3. 協力雇用主 4. BBS会 5. 更生保護施設 6. 教誨師（きょうかいし） 7. 篤志面接委員 8. 少年補導員 9. 少年指導委員 10. 少年警察協助手 11. いずれも知らない 12. その他（ ） 問19 あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。（ひとつだけ○） 1. 思う 2. どちらかといえば思う 3. どちらかといえば思わない 4. 思わない 5. わからない 問20 社会福祉協議会の広報紙「しもつけ社協だより」(年6回発行)をご存じですか。（ひとつだけ○） 1. 読んでいる 2. 興味があるところは読む 3. 知っているが読んでいない 4. 知らない 

【今回】第4期計画

一部変更

問26 あなたは、暮らしの中で手助けが必要なときに誰に相談したいですか。(いくつでも)

- | | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|--|
| ☐ 家族・親戚 | ☐ 自治会長 | ☐ 障がい児者相談支援センター |
| ☐ 隣近所の人 | ☐ 民生委員・児童委員 | ☐ <u>市役所の窓口や職員</u> |
| ☐ 知人・友人 | ☐ 社会福祉協議会 | ☐ <u>相談する人がいない</u> |
| ☐ 職場の人 | ☐ 地域子育て支援センター | ☐ <u>相談するつもりはない</u> |
| ☐ 医療機関の医師 | ☐ 地域包括支援センター | ☐ その他 () |

- 手助けが必要な時に誰に“頼むか”ではなく、誰に“相談するか”に変更するため、「調査項目2 地域との関わりについて」から「調査項目4 福祉サービス・相談について」へ設問を移行。設問文を変更。
- 市役所の窓口において、相談対応を行うのは、保健師に限るものではないことから、選択肢を変更(保健師の表記を削除)。
- 選択肢「頼める人がいない」及び「頼むつもりはない」から、「相談する人がいない」及び「相談するつもりはない」へ変更。

【前回】第3期計画

問9 あなたは、暮らしの中で相談や手助けが必要なとき誰に頼みたいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------|----------------|---------------------|
| 1. 家族・親戚 | 6. 自治会長 | 11. 障がい児者相談支援センター |
| 2. 隣近所の人 | 7. 民生委員児童委員 | 12. 市役所の窓口や職員(保健師等) |
| 3. 知人・友人 | 8. 社会福祉協議会 | 13. 頼める人がいない |
| 4. 職場の人 | 9. 地域子育て支援センター | 14. 頼むつもりはない |
| 5. 医療機関の医師 | 10. 地域包括支援センター | 15. その他 () |

【今回】第4期計画

一部変更

問 27 地域で暮らしやすくしていくために、社会福祉協議会で特に取り組んでほしいことは何ですか。(いくつでも)

- | | |
|--|---|
| ☐ 福祉に関する総合相談窓口 | ☐ 高齢者の福祉サービスの充実 |
| ☐ 福祉・ボランティアに関する情報収集・発信 | ☐ 障がい児・者の福祉サービスの充実 |
| ☐ 児童・生徒・市民向けの福祉教育の推進 | ☐ 子育てに関する支援の充実 |
| ☐ 身近な地域のつながりや福祉活動・交流の場の充実 | ☐ 生活困窮者への支援の充実 |
| ☐ ボランティア活動支援（育成・充実） | ☐ 権利擁護の充実 |
| ☐ 災害時の支援体制に関するもの
(災害ボランティアセンター・募金活動含む) | (法人後見事業・日常生活自立支援事業) |
| ☐ 各種福祉団体やサロンの育成・支援 | ☐ ひきこもりを含む孤立への不安を抱える方への支援の充実 |
| ☐ 地区社協の体制整備・支援 | ☐ その他（ ） |

地区社協（地区社会福祉協議会）とは

地区社協（地区社会福祉協議会）とは、地域住民が主体となって地域課題の解決や、支え合いの「福祉のまちづくり」の実現に向けて、地域で暮らす方々の「つながり」を活かしながら、身近な福祉活動を展開している任意の団体です。地区社協は、住民、自治会、民生委員・児童委員協議会、ボランティア団体、社会福祉施設など、地区内のさまざまな組織や団体によって構成されます。

- 選択肢「世代を超えた交流の場づくり・イベントの開催」を、「身近な地域のつながりや福祉活動・交流の場の充実」へ変更。
- 選択肢「災害ボランティアセンターの運営」を、「災害時の支援体制に関するもの(災害ボランティアセンター・募金活動含む)」へ変更。
- 各福祉サービスの選択肢の文言を変更(「…の充実」を追記)。

【前回】第3期計画

問 21 地域で暮らしやすくしていくために、社会福祉協議会で特に取り組んでほしいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 福祉に関する総合相談窓口 | 9. 高齢者の福祉サービス |
| 2. 福祉・ボランティアに関する情報収集・発信 | 10. 障がい児者の福祉サービス |
| 3. 児童・生徒・市民向けの福祉教育の推進 | 11. 子育てに関する支援 |
| 4. 世代を超えた交流の場づくり・イベントの開催 | 12. 生活困窮者への支援 |
| 5. ボランティア活動支援（育成・充実） | 13. 権利擁護 |
| 6. 災害ボランティアセンターの運営 | (法人後見事業・日常生活自立支援事業) |
| 7. 各種福祉団体やサロンの育成・支援 | 14. わからない |
| 8. 地区社協の体制整備・支援 | 15. その他（ ） |

【今回】第４期計画	【前回】第３期計画
➤ 「ひきこもりを含む孤立への不安を抱える方への支援の充実」を選択肢として、新たに追加。 ➤ 第３期計画において、地区社協組織の整備は重点事業としているが、地区社協(地区社会福祉協議会)の認知度は高いとは言えないため、地区社協についての説明文を追加。	

【今回】第4期計画		【前回】第3期計画																					
削除 地域福祉計画・地域福祉活動計画そのものの認知度よりも、各施策や制度、相談窓口等の認知度が重要であり、全体の設問数の調整のため、優先度から設問を削除。 新設 問28 あなたは、地域福祉を進めるためには、市民の参加・協力が必要とされていることを知っていますか。(1つのみ) ☐ 知っている ☐ 知らない 問28-2へ 問29へ 問28で「知っている」を選んだ人におたずねします。 問28-2 あなたは、どのような参加・協力をしたいと思いますか。(いくつでも) ☐ 地域で困っている人への声かけや見守り ☐ フードバンクや地域子ども食堂などの活動への協力 ☐ 地域の支え合い活動（買い物支援、ごみ出し支援など） ☐ 地域福祉に関する話し合いや意見交換への参加 ☐ 災害時に支援が必要な人への協力 ☐ その他（ ☐ 参加・協力はしたくない					問24 あなたは、地域福祉を進めるための以下の計画を知っていますか。 (ア・イそれぞれ、ひとつずつ○) <table><thead><tr><th colspan="2"></th><th>知っている</th><th>計画名は知っているが、内容は知らない</th><th>計画名も内容も知らない</th></tr></thead><tbody><tr><td>ア</td><td>下野市地域福祉計画</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>イ</td><td>下野市地域福祉活動計画</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr></tbody></table> 問25 あなたは、地域福祉を進めるためには、市民の参加・協力が必要とされていることを知っていますか。(ひとつだけ○) 1. 知っている 2. 知らない 前問において、地域福祉の推進には市民の参加・協力が必要とされていることを認知しているかを聞くに留まっていたため、認知している場合には、参加・協力したいか否か、参加・協力したい場合には、どのようなことに参加・協力をしたいかを調査するため、新たに設問を追加。						知っている	計画名は知っているが、内容は知らない	計画名も内容も知らない	ア	下野市地域福祉計画	1	2	3	イ	下野市地域福祉活動計画	1	2	3
		知っている	計画名は知っているが、内容は知らない	計画名も内容も知らない																			
ア	下野市地域福祉計画	1	2	3																			
イ	下野市地域福祉活動計画	1	2	3																			

【今回】第4期計画	【前回】第3期計画
一部変更 問 30 下野市の保健福祉施策をより充実していくために、あなたが重要と考える取組はどれですか。(いくつでも) ☐ 隣近所など、周囲の理解と協力による、支え合い助け合えるまちづくりをすすめる ☐ 災害時に支援を必要とする人の把握と支援体制を充実させる ☐ ボランティア団体など住民活動への援助を充実させる ☐ 年齢や障がいの有無にかかわらず地域で活動できる機会をつくる ☐ 世代や属性を超えて相談や交流ができる、場や居場所を地域に整備する ☐ どんなことでも相談できる、相談支援体制を充実させる ☐ 悩みや困難を抱える人を見つける仕組みづくりをすすめる ☐ 健康や福祉についての情報提供を充実させる ☐ 健康づくりや生きがいづくりが盛んなまちづくりをすすめる ☒ 福祉教育を充実させる ☐ 生活が困窮した方への援助を充実させる ☐ 成年後見制度などの権利擁護にかかる取り組みを推進する ☐ 犯罪をした者が社会に復帰するための支援を推進する ☒ 買い物・通院等の移動支援 ☐ 道路の段差解消など、バリアフリー化をすすめる ☐ その他（ ）	問 27 下野市の保健福祉施策をより充実していくために、あなたが重要と考える取り組みはどれですか。(あてはまるものすべてに○) 1. 隣近所など、周囲の理解と協力による、支え合い助け合えるまちづくりをすすめる 2. 災害時に支援を必要とする人の把握と支援体制を充実させる 3. ボランティア団体など住民活動への援助を充実させる 4. 年齢や障がいの有無にかかわらず地域で活動できる機会をつくる 5. 世代や属性を超えて相談や交流ができる、場や居場所を地域に整備する 6. どんなことでも相談できる、相談支援体制を充実させる 7. 悩みや困難を抱える人を見つける仕組みづくりをすすめる 8. 健康や福祉についての情報提供を充実させる 9. 健康づくりや生きがいづくりが盛んなまちづくりをすすめる 10. 生活が困窮した方への援助を充実させる 11. 成年後見制度などの権利擁護にかかる取り組みを推進する 12. 犯罪をした者が社会に復帰するための支援を推進する 13. 交通の利便性の確保をすすめる 14. 道路の段差解消など、バリアフリー化をすすめる 15. その他（ ）
➤ 子どもたちに対する教育に関する選択肢がなかったことから、「福祉教育を充実させる」の選択肢を追加。 ➤ 本設問が保健福祉施策を充実させるための取組についてであることから、「交通の利便性の確保」から「買い物・通院等の移動支援」へ、選択肢を変更。	

【今回】第４期計画	【前回】第３期計画
新設 問 31 あなたは、災害発生時に、高齢者、障がい者、妊婦、乳幼児・子どもなど、隣近所に自力で避難できない人がいたとき、どう対応しますか。（１つのみ） ☐ 自発的に手助けする、手助けしてもよい ☐ 自治会（自主防災組織）から要請があれば、手助けする ☐ 行政から要請があれば手助けする ☐ 手助けできない ☐ 手助けしない ↓ 問 31－２へ ↓ 問 31－３へ 新設 問31で「自発的に手助けする、手助けしてもよい」「自治会（自主防災組織）から要請があれば、手助けする」「行政から要請があれば手助けする」を選んだ人におたずねします。 問 31－２ 災害時、隣近所で手助けが必要な方に、あなたができることは、どのようなことですか。（いくつでも） ☐ 避難所での支援活動 ☐ 要援護者（高齢者、障がい者、妊婦、乳幼児・子どもなど）の安否確認 ☐ 要援護者（高齢者、障がい者、妊婦、乳幼児・子どもなど）の避難誘導 ☐ 傷病人のサポート ☐ 水や食料の提供 ☐ その他（ ）	気候変動による豪雨や地震の頻発で自然災害が激甚化する中、「自助」や行政による「公助」だけでは限界があり、地域住民が助け合う「共助」が必要不可欠であるが、その前提となるのは、地域とのつながりであることから、新たに調査項目として「災害時の助け合いについて」を設け、設問を追加。 共助として、隣近所に手助けが必要な方がいた場合に、具体的にどのようなことが手助けできるかを調査するため、設問を追加。

【今回】第4期計画	【前回】第3期計画
新設 問31で「手助けできない」「手助けしない」を選んだ人におたずねします。 問 31ー3 災害時、隣近所で手助けが必要な方がいても、手助けできない(手助けしない)理由は何ですか。(いくつでも) ☐ 自宅に自力で避難できない人がいるから ☐ 自分自身の体力的に手助けがむずかしいから ☐ 自分自身のことで精いっぱいでは手助けはできないから ☐ 隣近所をよく知らないから ☐ その他 () 新設 問 32 災害時の対策として、地域でどのような備えをしておくことが必要だと思いますか。(1つのみ) ☐ 災害時に支援を必要とする人の把握 ☐ 災害時に支援を必要とする人と面談して避難方法の確認をする(個別避難計画の作成) ☐ 支援する人(支援者)の確保 ☐ 地域での防災訓練・避難訓練の実施 ☐ 防災マップの作成 ☐ 自主防災組織の運営 ☐ 災害時に活躍できるボランティアの育成 ☐ 高齢者や乳幼児などの要支援者に必要な物資の備蓄 ☐ 地区防災計画の作成 ☐ その他 ()	手助けをしない、または、手助けをしたくてもできない理由について調査するため、設問を追加。 地域のつながりの希薄化により、助け合いが弱まっているとすると、特に選択肢「隣近所をよく知らないから」の割合がポイント。 災害時における助け合いのために、平時から地域でどのような備えをしておくことが必要であると認識しているかを調査するため、設問を追加。

調査項目 7 権利擁護について

【今回】第4期計画	【前回】第3期計画
問 34 将来的にあなた自身の判断能力が不十分になった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。(1つのみ) ☐ 利用したい ☐ 利用したくない ☐ わからない 削除 令和8年4月、成年後見制度の見直しを含めた民法改正案が閣議決定され、国会に提出された。今後、成年後見制度が大幅に変更となる可能性があるため、設問を削除。本設問を削除し、相談窓口の認知に関する設問を追加。⇒問 35 上記理由及び全体の設問数と優先度から設問を削除。	問 23 将来的にあなた自身の判断能力が不十分になった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。(ひとつだけ○) ☐ 1. 利用したい ☐ 2. 利用したくない ☐ 3. わからない ↓ 問 23 で「1」を選んだ人におたずねします。 問 23-2 成年後見制度を利用することになった場合、誰に後見人になって支援してほしいですか。(あてはまるものすべてに○) ☐ 1. 配偶者や子どもなどの親族 ☐ 4. 市民後見人 ☐ 2. 弁護士や司法書士などの専門職 ☐ 5. わからない ☐ 3. 社会福祉協議会などの団体 ☐ 6. その他 () 問 23 で「2」「3」を選んだ人におたずねします。 問 23-3 「利用したくない」あるいは「わからない」と答えた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○) ☐ 1. 制度の内容や利用方法がよくわからない ☐ 2. 制度を利用する際の手続きが複雑そうである ☐ 3. 他人に財産管理を任せることに抵抗がある ☐ 4. 利用するための費用(経済的負担)がかかる ☐ 5. 制度を利用せずに配偶者や子どもなどの親族に任せたい ☐ 6. 特に理由はない ☐ 7. その他 ()

【今回】第4期計画	【前回】第3期計画										
新 設 問 35 成年後見制度の相談窓口として、あなたが知っているものをお答えください。(いくつでも) <table border="0"> <tr> <td>☐ 宇都宮家庭裁判所</td><td>☐ 成年後見センター・リーガルサポート</td></tr> <tr> <td>☐ 市役所</td><td>☐ 権利擁護センターばあとなあ・とちぎ</td></tr> <tr> <td>☐ 社会福祉協議会</td><td>☐ 法テラス</td></tr> <tr> <td>☐ 地域包括支援センター</td><td>☐ 専門職（弁護士、司法書士）</td></tr> <tr> <td>☐ 相談窓口を知らない</td><td>☐ その他（ ）</td></tr> </table>	☐ 宇都宮家庭裁判所	☐ 成年後見センター・リーガルサポート	☐ 市役所	☐ 権利擁護センターばあとなあ・とちぎ	☐ 社会福祉協議会	☐ 法テラス	☐ 地域包括支援センター	☐ 専門職（弁護士、司法書士）	☐ 相談窓口を知らない	☐ その他（ ）	成年後見制度に関しては様々な相談窓口が存在しているが、成年後見制度の利用が低調である要因として、これらの相談窓口が認知されているのかを調査するため、設問を追加。
☐ 宇都宮家庭裁判所	☐ 成年後見センター・リーガルサポート										
☐ 市役所	☐ 権利擁護センターばあとなあ・とちぎ										
☐ 社会福祉協議会	☐ 法テラス										
☐ 地域包括支援センター	☐ 専門職（弁護士、司法書士）										
☐ 相談窓口を知らない	☐ その他（ ）										

調査項目 8 再犯防止の取組について【新設】

【今回】第4期計画	【前回】第3期計画
一部変更 問 36 あなたは、次の再犯防止に協力する民間協力者や取組を知っていますか。(いくつでも) ☐ 保護司 ☐ 更生保護施設 ☐ 更生保護女性会 ☐ 社会を明るくする運動 ☐ 協力雇用主 ☐ いずれも知らない ☐ BBS会 ☐ その他 () ➤ 「設問項目4 福祉サービス・相談について」内の福祉の窓口・制度の中で聞いていた「社会を明るくする運動」を本設問に移したため、選択肢を追加。 ➤ 再犯防止に協力する民間協力者(ボランティア)の選択肢について、法務省の“社会を明るくする運動”のウェブページ及び総務省の「更生保護ボランティアに関する実態調査」を参考に、選択肢を絞るため、選択肢「教誨師」、「篤志面接委員」、「少年補導員」、「少年指導委員」及び「少年警察協助力員」を削除。 【参考】 ※ 法務省“社会を明るくする運動” ウェブページ内「更生保護を支える人」  法務省ウェブページ 二次元コード ※ 総務省行政評価局「『更生保護ボランティア』に関する実態調査－保護司を中心として－」(令和3年1月)	問 18 あなたは、再犯防止に協力する民間協力者として、次の方々がいることを知っていますか。 (あてはまるものすべてに○) 1. 保護司 5. 更生保護施設 9. 少年指導委員 2. 更生保護女性会 6. 教誨師(きょうかいし) 10. 少年警察協助力員 3. 協力雇用主 7. 篤志面接委員 11. いずれも知らない 4. BBS会 8. 少年補導員 12. その他 ()

【今回】第４期計画	【前回】第３期計画
新設 問 37 あなたは、再犯防止のために、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも) ☐ 仕事と住居を確保して安定した生活基盤を築くこと ☐ 高齢者や障がい者の場合には、適切な福祉や医療につなぐこと ☐ 地域ぐるみで犯罪や非行をした人の立ち直りを支援すること ☐ 地域における防犯活動など犯罪の起こりにくい環境づくり ☐ 刑務所、少年院、保護観察所等による指導や支援の充実 ☐ 民間協力者（保護司、更生保護女性会、協力雇用主等）の活動促進 ☐ その他（ ） ☐ わからない 一部変更 問 38 あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。（１つのみ） ☐ 思う ☐ 思わない ☐ どちらかといえば思う ☐ わからない ☐ どちらかといえば思わない ➤ 「調査項目８ 再犯防止の取組について」を新設したことに伴い、「設問項目４ 福祉サービス・相談について」内にあった本設問を移行。 ※ なお、設問本文及び選択肢の変更はなし。	再犯防止に必要な取組について、どのような意識を持っているかを調査し、再犯防止に向けた施策の参考とするため設問を追加。 問 19 あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。（ひとつだけ○） 1. 思う 4. 思わない 2. どちらかといえば思う 5. わからない 3. どちらかといえば思わない

調査項目 自由記述

【今回】第4期計画	【前回】第3期計画
一部変更 問 39 地域福祉に関するご意見や、みんなで助け合い・支え合える地域を作るためのアイデア・ご提案がありましたら、ご自由にお書きください。あなたができること、地域で取り組むべきことなど、何でも結構です。 ➤ 地域福祉に関するご意見を記入する自由記述に関しては、特に、地域づくりや居場所づくりをはじめとしたアイデアや提案を多く拾い上げ、今後の市の福祉施策の参考としたいため、設問文を変更。	問 36 最後に、地域福祉に関して何かご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

設問項目 削除

【今回】第4期計画	【前回】第3期計画
削除 全体の設問数の調整のため、優先度から設問を削除。 福祉に関する情報の入手先については、問24及び問24-2において設けている。 コミュニティFM「FM ゆうがお」が令和元年12月に開局し、聴取状況を確認するため設けた設問だが、全体の設問数の調整のため、優先度から設問を削除。	7. 市からの情報について 問33 あなたは、どのように市政に関する情報を得ていますか。 (あてはまるものすべてに○) 1. ホームページ 2. 広報紙 3. ラジオ 4. ツイッター 5. メール 6. データ放送 7. ケーブルテレビ 8. その他 () Shimotsuke 5 問34 あなたがラジオを聴く際に利用する機器はなんですか。(あてはまるものすべてに○) 1. カーラジオ 2. ラジカセ 3. 携帯型ラジオ 4. スマートフォン 5. パソコン 6. 防災ラジオ 7. 聴かない 8. その他 () 問35 あなたは、下野コミュニティFM「FM ゆうがお」を知っていますか。(ひとつだけ○) 1. 番組を聴いたことがある 2. 知っているが聴いたことはない 3. 知らない 問35で「1」を選んだ人におたずねします。 問35-2 あなたは、「FM ゆうがお」をどのくらいの頻度で聴きますか。(ひとつだけ○) 1. ほぼ毎日 2. 週に3回ほど 3. 週に1回 4. 月に1〜2回程度 問35で「1」を選んだ人におたずねします。 問35-3 あなたが好きな「FM ゆうがお」の番組はどれですか。(あてはまるものすべてに○) 1. さわやかスタジオ879 2. くらしパレット 3. しもつけピタッとラジオ(市提供) 4. ゆうがおパラダイス 5. 特にない 6. その他 () 問36へ